

書 評

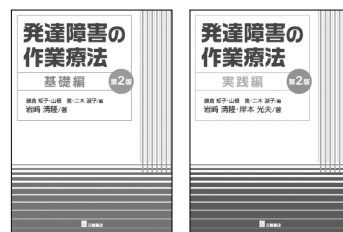
基礎編：岩崎清隆（著）

実践編：岩崎清隆，岸本光夫（著）

発達障害の作業療法 [基礎編] [実践編] 第2版

辛 島 千恵子

（名古屋大学大学院，作業療法士）



三輪書店から届いた『発達障害の作業療法第2版』基礎編と実践編をレターボックスから取り出したときにズッシリとその重さを感じました。そのときに思わず、鶏の卵を掌にのせて「……地球より重い」と生命の重たさを詠った壺井繁治の詩が頭をかすめました。

本書からは、岩崎先生が学び、実践し、試し、修正して創り出した作業療法の生命の重たさを実感しました。急ぎ本書の頁をめくり、思わず「脱帽！」の一言です。初版を大きく超えた発達障害・作業療法の生命力がみなぎり、本の中から文字、表、子どもたちのイラストが踊り出すような躍動感のある内容となっています。

岩崎先生とほぼ同じく日本の発達障害・作業療法の開花期を駆け抜けて来た同胞として、本書のご出版を心よりお慶び致します。また、群馬大学をご退任されてからもなお、後輩育成への努力と行動に勇気をいただきました。近年の発達障害・作業療法の教科書は、学生の理解のレベルに対応するような教科書の解説版のような教科書が増えている中で、媚びることなく真っ向から発達障害・作業療法を解き明かした教科書です。本書からは、岩崎先生という1人の知識人の人生を背景に置きなが

ら、作業療法にスポットを照らして知識と実践がその源流から溢れ出るかのような勢いを感じます。本書の第一の特徴は、歴史に学びながら現在の新しい情報と知見を加えて、今後の発達障害・作業療法の未来を見据えた内容となっていることです。第二の特徴は、子どもたちにとって重要な作業である「遊び」についての記載が充実していることです。それは、とてもすばらしいことだと思います。「遊び」の楽しさ、発達、分析、そして、支援の手段としての遊び、それらをイラストでわかりやすく解説しています。第三の特徴は、医療の枠組みの作業療法過程における評価、治療、支援ではなく、子どもたちの生活からとらえられていることです。第四の特徴は、評価内容の充実です。第五の特徴は、図、表、玩具の紹介等の多くが岩崎先生のオリジナルであることです。第六の特徴は、本文をじっくり読むとわかりますが、岩崎哲学が脈打っていることです。それは、人への深い愛しみの心と真実を探求する強さです。以上の特徴からまさに実践学教科書の醍醐味が溢れています。だから、本書は媚びず、力強く、優しく、正しく後輩作業療法士さんや学生さんを導くことができると確信して

います。

第2版の「あとがき」で「……初版のときと同様、書き上げるまでに3、4年かかっている……」とあります。この執筆期間に見合った文献の数から学び深められたことがうかがわれます。そして、作業療法学の道標となる上質な読み物として仕上げられています。そのため「この箇所が重要だからアンダーラインを引いてください」と言える教科書とも一線を画したのになっています。子どもが誕生してから仲間の中で協調性や自己有能感が育まれ、想像力をもつ3～4歳児のすばらしい成長に匹敵する内容となっています。

私がまだ教鞭をとっている間に本書を手にすることができました。そして、本書と共に発達障害・作業療法について学生さんや臨床家の方へあともう少し、作業療法を伝えていきたいと思えます。岩崎先生、ありがとうございました。

〔基礎編〕
B5判 292頁 3,600円＋税
〔実践編〕
B5判 392頁 3,800円＋税
三輪書店 刊
☎ 03-6801-8357